

ベラルーシ共和国における甲状腺がん検診のあゆみ
～10年をふり返る～

渡會泰彦先生講演会



ベラルーシでの甲状腺がん検診の現場で、臨床検査技師として10年にわたり活躍されてきた渡會泰彦先生を福岡へお招きし、講演会を開催します。どうぞふってご参加ください。

日時

2016年

11月19日 (土)

13:00～16:00 (開場12:30)

※詳しいプログラムは裏面をご覧ください

ゲスト

渡會泰彦先生 (臨床検査技師)

※プロフィールは裏面に記載しています。

会場

カンフェレンスASC・3A

(福岡市博多区博多駅東1-16-25 3F)

※詳しくは裏面をご覧ください

参加費

無料・定員40名 (先着順、予約優先)

※資料の準備の都合上、なるべくご予約ください。

主催、お申込み、お問い合わせ

NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク (CMN)

(〒811-3102 福岡県古賀市駅東2-6-26-203)

TEL: 092-944-3841

E-mail: jimu@cher9.to

URL: www.cher9.to/

プログラム

13:10 ~ 14:00

第1部 渡曾泰彦先生 基調講演

14:10 ~ 15:40

第2部 トークセッション

渡曾泰彦先生、山田英雄氏、他
※質疑応答含む。時間配分等、変更の場合あり

CMNの活動



1986年4月26日、旧ソ連、現在のウクライナ共和国にあるチェルノブイリ原子力発電所で大きな爆発事故がありました。

この事故により最大の被災国となったベラルーシでは、国土の3分の2以上が汚染され、放射能の影響により、事故後子どもたちの間で甲状腺がんが急増しました。

CMNでは、チェルノブイリ原発事故によって最も被害を受けたベラルーシ共和国へ日本の医師団を派遣し、甲状腺疾患の早期発見治療を目指した医療支援プロジェクトを行っています。

渡曾泰彦先生 講演会

ゲスト・プロフィール

渡曾 泰彦

(WATARAI YASUHIKO)



1959年生まれ。

臨床検査技師。日本医科大学付属病院・病院病理部技師長。

ベラルーシ共和国ブレスト州の州都ブレスト市での被曝住民に対する甲状腺がん検診に2003年より参加し、現地医療従事者へ細胞診断の技術指導を行ってきた。2012年までの10年間の検診で416名の細胞診断が行われ、約10%にあたる42名の住民にがんが見つかった。

山田 英雄

(YAMADA HIDEO)



1947年生まれ。

ロシア語医療通訳、コーディネーター。

広島出身の被ばく二世。高校卒業後モスクワのパトリス・ムルンバ民族友好大学医学部に進学。旧ソ連の医師免許を取得する。長年に亘りCMNの医療通訳を務める他、医療、語学の能力を生かしてチェルノブイリ、旧ソ連のセミパラチンスク核実験場の被災地などを幾度となく訪問し、核被災者支援に携わり続けている。



会場案内

カンファレンスASC (アスクビル)
3A

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-16-25-3F
(JR博多駅筑紫口より徒歩3分)

申込、問合せ

NPO法人
チェルノブイリ医療支援ネットワーク
jimmu@cher9.to 092-944-3841
<http://www.cher9.to/>